



前 奏

起立：賛美歌

(祭司 跪いた後、みことばを開き、読み上げる。)

会衆：アーメン

祭司：おこしてください。ふし拝み、ひれ伏しましょう。私たちを造られた方、主の御前に、跪きましょう。

跪 全員

祭司：主よ、わたしの言葉に耳を傾け

会衆：私の思いを顧みてください

祭司：私は、豊かな恵みのある、あなたの家に行き、

会衆：あなたを恐れつつ、あなたの聖なる宮に向かってひれ伏します。

祭司：私は心を尽くして、あなたのみ顔に求めます。

会衆：どうか、みことばのとおり、私をあわれんでください。

全員：主よ、私達は求めます。あなたが私達のそばにお越しいただき、あなたの霊で私達を満たしてくださいように。あなたの慈しみの内に、私達が心から自分の罪を認め、高さから力をいただいてあなたの戒めの道のうちに歩むことができますように。

イエス・キリスト、我が主よ。アーメン。

祭司：主よ、あなたの豊かなあわれみの内に、私に御顔を向けてください。

会衆：あなたのしもべに御顔を隠さないでください。

祭司：まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。

会衆：私の罪は、いつも私の目の前にあります。

祭司：私は、あなたの力の内に歩いてゆきます。

会衆：あなたの救いを語り継ぎます。

祭司【祈り】

会衆「アーメン」

【主の祈り】全員

天にいます私たちの父よ。

御名が聖とされますように。

御国が来ますように。

みこころが行われますように、

天で行なわれるように、地においても。

私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。

私たちの負いめをお赦してください。

私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。

私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。

国と力と栄えは、とこしえにあなたのもものだからです。

アーメン。

祭司：主よ、私達の負い目をお赦してください。

会衆：私達が、私達に負い目のある人たちを赦すように。

お す く い く だ さ い あ な た の た み を た
か - め て く だ さ い と こ し え に

立：全員

祭司 神である主、救い主、イエス・キリストに栄光がありますように。

会衆 主はアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。

祭司 アーメン 主のみ名が褒め称えられますように。

ホー リー ホー リー ホー リー ぼ ん ぐ ん の 主
そ の え い 光 ぜ ん 地 に 満 つ そ の え い
光 は ぜ ん 地 に アー メン

【朗誦・詩編交読】

お お な る そ の 名 に さ ん 美 と ほ ま れ を -
か み の み 名 を て ん ち よ あ が め ま つ れ -

♪王なるその名に 賛美とほまれを 神のみ名を 天地よあがめまつれ

座 全員

朗読者は（祭壇からみて）祭壇の右側に立って朗読

【第一朗読】旧約聖書より

【第二朗読】新約聖書より

【第三朗読】天界の教えより

みことばを聞いて行う人は幸いです。アーメン

間奏

起立：賛美歌

（祭壇からみて）祭壇の左側にて朗読

【説教】

立 全員

祭司 ただ一人の神であるイエス・キリスト、主が、栄光のうち、とこしえに治められますように。アーメン

全員 讃美歌 奉献

♪今捧げる捧げ物を、主よ清めてお受け下さい。アーメン

祭司（讃美歌 奉献の間に捧げ物を運ぶ。奉献に続いて、奉献文を述べる）

「私は、自由にささげるささげ物をもって、あなたにいけにえをささげます。主よ。いつくしみ深いあなたの御名に、感謝します。」（詩編 54:6）

跪 全員

祭司 祈りましょう。・・・・・・アーメン。

【祝福】

祭司 主、イエス・キリストの恩寵が、いつもあなたがたすべての上にありますように。アーメン

（祭司 跪き、〈みことば〉を閉じ退場）

全員 起立 讃美歌

座 （後奏）